か　え　で　ゆ　う　び　ん　10月号

２０２２年 10月１日
社会福祉法人　清松学園
幼保連携型認定こども園
か　え　で　保　育　園
園　長　　引地　美津代

　2022 年度もあと３か月となりました。ようやく感染症が弱まり、どの場面でも少し緊張が和らいできたように思います。まだまだ油断はできませんがしっかりと感染症対策をしながらできることを増やしていきたいと思います。
今年もだいちのお泊り保育は宿泊することは見合わせましたが一日を思いきりやりたいこと、知りたいこと、食べたいもの、をギューッと凝縮して過ごします。
子どもたちの話を職員全体で話し合い、皆で担当に分かれて、その日一日が子どもたちの笑顔や驚き、そして何より皆が幸せな思い出を作れるように進めました。今年は「世界中を旅しよう！」とテーマにして西宮を探検し、世界中の人々がどんな言葉を話し、どんなことをしているのかめいめいの思いを深めています。
　「だいぼうけんの日」から後の半年間、子どもたちの考え提案してくれることを受けとめながら保育を組み立てていきます。子どもたちの思いを受け止める職員も一喜一憂しながら保育者として成長していきます。

幼児クラスは３歳児から５歳児まで同じ空間で過ごします。異年齢で過ごしている子どもたちの生活は、何より人の様子を観察したり、声を掛け合ったりすることが多いです。「みんなお庭だよ」「もうすぐご飯だよ」「おやつにいこう！」プログラムが動くたびに声を掛け合いながら過ごせている環境だからこそ人への思いやりや自分以外の人のことも大切に出来ると確信しています。時には意見が合わないでけんかになったりしますが、仲裁する子、慰める子、遠くから心配そうに様子を見守る子など、人に寄り添うことが自然と行われています。素敵な関係性ですね。
～報告～
　９月 17 日より 26 日までランチルームの床暖房の工事・にこにこ広場に給湯器を設置しました。足洗い場にはお湯が出るように整備し今年の冬は足湯が毎日できるようになりました。ランチルームの水栓は自分でひねって水を出す様式でしたが感染症対策として自動水栓に変更しました。
子どもたちが心地よく過ごせるよう今後も環境整備を行っていきます。

洗面台新しく
なりました

床暖房

お知らせ

・１０月１３日に消防設備点検があります。
・１０月１７日より武庫川短期大学から２名の実習生が来られます。
・感染症の状況が落ち着いてきました。保護者の方々の送迎の際に室内に入っていただけるように考えています。決定しましたらお知らせいたします。

おねがい

・感染症の状況で、行事や予定が変更・中止する場合があります。園からのよいこネットを必ずご確認ください
・よいこネットが入ってこない方は迷惑メールに入っている可能性もありますので、迷惑メールホルダーをご確認ください。

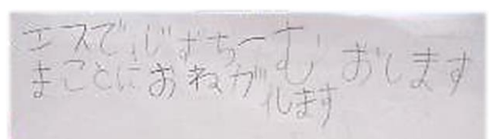
<u>１０月の予定</u>
・１日（土）だいち　だいぼうけんの日
　家庭保育にご協力お願いします
・７日（金）全クラス　お弁当日
　お弁当のご用意をお願いします
・１９日（水）誕生会
・２５日（火）園内　人形劇鑑賞
　人形劇団クラルテの方が来られます
・体操あそび
　６・１３・２０・２７日（木）
・絵画あそび
　５・２１日（水・金）
・１０月～西宮市内の小学校就学時健康診断が行われます
　各校の日時をご確認ください

<u>１０月の子育て支援事業</u>
　４日（火）　アートで楽しもう
　１８日（金）　音楽であそぼう

<u>１１月の予定</u>
・5日（土）　つぼみ～だいち　運動発表会
　めばえ・ふたば　家庭保育にご協力お願いします
・１４日（月）　だいち　西宮市内民間園の児童交流会
・１８日（金）　全クラス　お弁当日

　朝夕にはさわやかな秋風が吹き、少し肌寒く感じることもありますが、随分過ごしやすくなりました。季節の変わり目、寝る時など大人はつい子どもが寒いと思い、寝具やパジャマを一早く暖かいものにしてしまうことで寝ている子どもたちはたくさんの汗をかき、汗が冷え、風邪を引く原因となることが多いです。服装や室温調整が難しいこの時期ですが、子どもは汗の吸収しやすい素材の物を着用し、大人にとっては「寒いかも？」ぐらいがちょうどよく、下着などで調節してあげてください。
９月のある日、園庭の真ん中辺りを掘り始めた一人のだいちさん、それを見ていた子どもたちも興味を示し何やら手伝い始めました。「何しているの？？」と聞くと「もうすぐこの穴は地球の真ん中辺りにたどり着くから、明日も続きをする。もっと掘ったらブラジルに行けそうなんだ…」「それは面白そう。何か手伝うことがあれば手伝うね」と言い、その場を少し離れました。その後周りにいた子どもがブラジルに行ったときのためにブラジル語？を話せるようになっておかないといけないから言葉を覚えたいと話してくれました。
このことがきっかけとなり、だいちさんの冒険が広がっているようです。見守りながらこどもたちの冒険旅行に私もお供させてほしいなと思っています。
みなさまもだいちの作る「世界冒険の旅」にご一緒に出かけませんか？
主幹保育教諭　藤森寿美

　西宮を探検しコツコツと地図を作っていた西宮地図チームの興味が、だいち組全体へと広まっています。今はだいち組のみんなで町を探検しながら、ひみつの時間に地図作りを楽しんでいます。
ある日、旧にしのみや地図チームの２人がいつも地図を作っていた場所に、集まっていました。「何かさ、にしのみや地図たのしかったなあって」どうやら、お決まりの時間にのんびりと集まっていたことが、心地よかったようです。「それで、次も何かしたいなあって思うんだ」２人で大人の椅子に座り、さっそく会議が始まりました。自分たちで紙と鉛筆も用意し、次はどんなチームにしようかと頭を悩ませています。ゴルフチーム・かきごおりチーム・配達チーム…他にもいくつか案が挙がっていました。そして最後に２人で選んだチームは、まさかの“SDGｓチーム”「そこにチラシがあったから」だそうです。
「SDGｓってなに？」の質問に、「えっと、とりあえず、みんなで達成したい１７個の目標ってこと」と大人顔負けの説明をしてくれるＡくんと、「何か分かんないけどやってみたい」というＢくんで構成された SDGｓチーム。
翌日、とても嬉しそうに集まった２人は「それでさ、ＳＤＧｓチームってなにするの？」とまたまた頭を悩ませていました。活動内容は未定ですが、子どもたちの想うＳＤＧｓが世界を救う一歩となるかもしれません。子どもたちがこれから歩んでいく未来に繋がっていくことを楽しみに、見守っていきたいと思います。
主幹保育教諭　河本彩奈



今月の子どもたちのようす

９月のかえでの様子をご紹介します。

“ちょちちょちあわわ“（わらべうた）が好きで、保育者の動きを真似をして「あわわ」と言いながら口に手を添えたり、手をぐるぐる回したり、一緒に歌って、楽しんでいます。

新聞紙遊びをしました。新聞紙を大きく広げて触って、カサカサ音を楽しんだ後、たくさん破って部屋中が新聞紙の海に…。
たくさん遊んだあとは、お片付け。
みんな上手に袋に集めて、あっという間にすっきりきれいになりました。

４月から遊んでいる絵本「パンダなりきりたいそう」。新しく「ぱんだかぞえたいそう」も仲間入りしました。頭にパンダをつけて、なりきりながら楽しそうに体操しています。

転がし絵をして遊びました。
ビー玉やどんぐりをころがすと、絵の具の模様がついていく様子を見て、たくさん振ってみたり、ゆっくり動かしてみたり。みんなそれぞれ違った素敵な模様ができました。

トウモロコシの皮むきを楽しみました。１枚ずつ力を込めて剥いていくと黄色いトウモロコシの粒がたくさん見えてきて嬉しそうな子ども達でした。

いぶき組の友だちが「お水、冷凍庫に入れたらどうなるのかな？」と不思議に思ったことから始まった氷遊び。
製氷機を使い、氷を作ったり、溶けたお水にお花を入れて色水遊びを行いました。ハートや星形など様々な形をした氷にみんな大喜びです。

少しずつ言葉が出てきて、友だちとも言葉でのやり取りを楽しんでいます。
遊びの中で友だちの名前を呼んだり、一緒に遊んだり子ども同士の関わりがたくさん見られるようになってきましたよ。

いつも柵の中から眺めていたかめさん。一緒に園庭をぐるりと歩いてみることにしました。カメさんに「こっちだよ」と案内したり、トンネルを作って潜らせたりと一生懸命になっている姿に保育者も、ほっこりできました。

いぶき組では虫取りでアゲハ蝶を捕まえてから、捕まえるのではなく幼虫のお世話をしてみたいという子ども達の声があり、園庭のみかんの葉にいたアゲハの幼虫を虫かごでお世話をすることになりました。部屋に貼っているアゲハ蝶の成長過程の写真を見て、今はこれだねと成長の過程を楽しんで観察しています。

西宮の地図を作っている子どもたち。始めは少人数で作り始めた地図ですが、全員で作ることになりました。町探検に行くと、「ここにはこんなお店があったんだ」「国旗を見つけたよ」とたくさんの発見がありました。
子どもたちの町たんけんはこれからも続きます。

先日の絵画では
どろきょうりゅうの絵
をみんなで描きました。
「どんなきょうりゅうが
うまれてくるかな」と
たまごを見ながら、
イメージを膨らませて
思い思いに描いていました。

たからおうこく

みんなで線を繋ぎ、
ブラジルまで続く穴を
作りました。
その周りには
だいち組の世界が
広がっています。

「このカンガルー赤ちゃんいないよ」
シートに描かれている動物を探す
ゲームを友達と楽しんでいます。
カンガルーといっても親子でいたり、
横になったりとポーズが違う動物が
たくさんいるのがこのゲームの
面白さの一つです。

園庭に突然現れた穴は、だいち組がブラジルまで行くための穴でした。
毎日少しずつ穴が深くなっています。保護者の方が貸して下さった「地球をほる」という絵本から子どもたちの気持ちはより強くなりました。「まっすぐ掘るとマグマがあるから途中で斜めにしよう」と考えながら堀り続けています。
途中に石や枝が出てくるだけで、子どもたちの中では「他の国からの贈り物かも」と期待感を抱き楽しんでいます。どこまで掘れるか分かりませんが、子どもたちと楽しみながら挑戦してみようと思います。

最近はじゃんけん列車などの
ルールのある遊びをみんなで楽しんで
います。「かもつれっしゃ」の歌を
歌いながら友達と連結し、じゃんけん
ポン！と先頭を目指しています。

保育園の２階の廊下にグロッケンやマリンバ、
電子ピアノ等を自由に楽器に触れることができる
コーナーがありますが、９月はみんなで楽器に
触れる機会をたくさん設け、タンバリンや
トライアングル、スズ、カスタネットをピアノの
伴奏に合わせて自由に鳴らすことを楽しみました。

「カボチャの色になってきた！」
太田先生にいただいたカボチャを観察しました。
さわってみたり、両手で持ち重さを感じてみた後は、
思い思いのカボチャを描きました。
絵具を青、黄、赤をそれぞれ混ぜてみると「どんどん
カボチャの色になってきた！」と色をつくりだす面白さを
味わう様子が見られました。観察後、お味噌汁で美味しく
いただきました。

子どもたちのメッセージ

～手紙、届きますように～
ある日絵本『くまにてがみをかきました』を見ていると、誰に手紙を書きたいかと子どもたちで話し合っていました。お家の人や友だち等、届けたい人への思いをそれぞれに話していました。その中で１人の子が「ねずみばあさんに書きたい」「どこにいるのか聞いてみる」と手紙を書くことになりました。

「何書こうかな」「絵描いたら嬉しいかな」と心をときめかせながら、気持ちを込めて文字や物語に出てくる絵を描きました。
このおしいれにいるかもしれないと絵本室のおしいれに手紙を出して２日後…。置いていたはずの手紙がなくなり、その場所に小さな足跡がポツポツとついていました。「もしかして…ねずみばあさん！？」とおしいれを開けてみると小さな手紙とマントと杖が置いてありました。
「ねずみばあさんいたんだ！」「どこかでみてるの？」「このマントと杖は忘れ物かな？」と想像は膨らむばかり。「もう１回手紙書きたい」と『おしいれ』にいるかもしれないと手紙を届ける人へ思いを寄せる機会にもなっているようです。
　５月頃に読んでいた『おしいれのぼうけん』をもう１度読み始めました。繰り返し読んでいる物語ですが、新たな発見もあるようです。表情を見ていると、おしいれに入れられてしまった時はだんだん怖くなりみんなが自然と集まったり、冒険が始まると早く続きがみたいと物語の先を楽しみたい気持ちが伝わってきます。子ども達は夢中になって、物語に引き込まれています。ぜひ、お子様から物語をゆっくり聞いてみてください。

事務所に置いてある「そら色の夢」という本。その本に魅了された一人の女の子が「空を撮りたい」と空の写真を撮り始めました。カメラを片手に園庭で空を見上げ、撮りたい空を見つけると「さかなの形みたい！」など楽しそうな声と一緒にパシャパシャと夢中で写真を撮っていました。その姿を見て、他の子どもも数人近づいてきて「わたし・ぼくも撮りたい」と集まってきました。撮りたい空を見つけると「カメラ貸してください」と事務所に来るようになりました。そこから園庭に出ると空を見上げる子どもが増えました。雲の形や流れる様子を眺めながら季節の移りかわっていく様子を感じられたらと思います。

お台所から

９月１日
いつもはなかなか見せてあげることのできないふたば組の子どもたちにとうもろこしに触れてもらいました。硬い皮を頑張って保育者と共に剥いてくれたり、じーっと見つめたりと、楽しそうに皮むきをしてくれました。夏にたくさん登場したとうもろこしですが、もう夏野菜も終わりを迎えます。今年もたくさんメニューに取り入れ、子どもたちに食べてもらえて良かったです。
来年もまたおいしい季節になったら登場しますのでお楽しみに。

９月７日
初めての試みとして、カレーライスの日に厨房前のカウンターに今日使用するルウの箱を展示しました。一生懸命 箱の数を数えて教えてくれる子や、「こんなに使うんだ～！」とびっくりしている子もいました。園では毎回８箱のルウを使ってカレーライスを作っています。子どもたちに大人気のメニューで、いつもたくさんおかわりをしてくれます。牛肉にしたり鶏肉にしたりとレパートリーを増やし 子どもたちの苦手な野菜を少しでも食べてもらえるようカレーライスや他の献立にも取り入れて工夫していきたいと思います。

９月９日
十五夜の前日、園ではおやつに「お月見団子」を出しました。小豆をコトコト鍋で煮て作った、手作りのつぶあんを白玉団子の上にのせて食べました。あんこが苦手な子もいましたが、「一口食べてみて？」と言うと…おいしかったのかなんとおかわりをしてくれました。あんこのみをおかわりする子もいたりと、みんな嬉しそうにたくさん食べてくれてよかったと思います。

食育活動
- 秋を感じられる「栗」をおやつに予定しています。
- とうがんをみんなに観察し、目の前で冬瓜をカットし、とうがんスープを作ります。
- 梨やりんごの種類が増えてきますので子どもたちに果物の名前も一緒に紹介していきます。
  王林・シナノゴールド・ふじなどまだまだ種類はありますね。

栄養士　廣田 恵　　信田 まなみ

先生たちのメッセージ

暑がりで寒がりの私にとって、大好きな秋がやってきました。気温が下がり、過ごしやすい気候になってきました。子どもたちも季節の変化を感じているようで、「どんぐりが落ちていたよ」
「トンボさんが飛んでるから、秋がやってきた」と教えてくれます。
さて、秋といえば…「食欲の秋」ですね！通年で食欲は旺盛なのですが、秋は特に食欲が増します。かえで保育園の仲間入りをしてから１年半が経つのですが、毎日のお昼ご飯とおやつのおいしさに感動しています。突然ですが私の大好きなかえで保育園のご飯たちを少し紹介させてください。

【ご飯部門】

１位　肉うどん　ジューシーなお肉と生姜のきいた味付けが最高です
２位　ツナチャーハン　ごま油のいい香りとツナが奏でるハーモニーに虜です。
３位　鮭の照り焼き　実は焼かれたお魚あまり得意でない私でも上位に入る美味しさ！
　　パサつき０、タレの甘みと旨味が絶妙！

【おやつ部門】

１位　コロコロラスク　食べ出したら手が止まりません
２位　揚げパン　みんな大好き！揚げたてパンに丁寧にまぶされたきな粉…魅力しかありません。
３位　マシュマロクラッカー　マシュマロの甘みに、クラッカーの塩味がたまりません。
ここで紹介したご飯とおやつはごく一部ですが、もっとたくさんのメニューがあります。お子様たちにもぜひお気に入りのメニューを尋ねてみてください。保育園での毎日の食事を通して、食の楽しさが伝わっていたら嬉しいです。

小寺涼香

私が子どもの頃、母は自宅でピアノ講師をしており、狭いマンションの一室がレッスンルームとなっていました。毎日私の友達や近所の子ども達が大勢レッスンに訪れていましたが、母も高齢になり教室を閉めてピアノを手放す事になりました。何十年も使用した古いピアノで、市場に需要もなく処分するにも結構な金額がかかるとの事。それ以上に母にとっても私にとっても想い出の詰まった大切なピアノを手放す寂しさもあり、新たな居場所として我が家に迎え入れる事になりました。黒く大きな体にたくさんの傷がありますが、きちんと手入れをすればまだまだ素敵な音色を聴かせてくれます。

　かえで保育園のにこにこ広場に置いているピアノも、前理事長である章夫先生が幼少期の頃から大切に使われていたものを譲り受けたそうです。

　SDGs が謳われる今、何でも処分して新しいものを手に入れるのではなく、使えるものは手入れをしながら大切に引き継いでいく姿を大人が示し、子ども達に伝えていけたらいいなと思います。

小板橋円香

保護者からのエピソード

お家でお姉ちゃんに追いかけられては
笑って逃げています(笑)
寝ている時以外はずっと動き回っているか
ずっと食べています。食いしんぼうです。

めばえ組　しのぶさん

保育園での出来事はほとんど話さないですが、帰りは先生にぎゅーしたり、ハイタッチしたりと名残惜しそうです。
土日も「保育園いくー！」と。「今日はお休みだよ」というと、「じゃあ、また今度行こうね」といつも楽しんでいるのが伝わります。

つぼみ組　まりこさん

　どちらかというと口下手な息子。先生やお友だちに声かけられ、にこにこしているところをみると、いつも、よかったなーと思います。
これからも、先生、お友だち、色んな人に関わって成長していってもらえたらと思います。

いぶき組　みのりさん

空や雲が好きなようで、園で空の写真を撮って飾ってもらっていました。
お迎えに行くと、誇らしげに見せてくれました。意外な一面に驚きと感動がありました。いつも見守ってくださりありがとうございます。

だいち組　ことみさん

８月に開催された夏祭りのゲームの特賞で頂いた“かえで保育園産マスカット”がとても美味しかったようで、すっかりぶどう好きになりました。降園時にも藤棚を指差して「ぶどう！ぶどう！」と教えてくれます。
お友だち、先生、園のお兄ちゃん、お姉ちゃんたちとの関わりを通して、世界が広がり、好きな物や大切なものが増えていく事を嬉しく思いながら成長を見守る日々です。

ふたば組　ゆうほさん

毎晩、寝る前に今日の保育園での出来事を教えてくれます。以前は「今日の給食は魚だった！」など、食べ物の話だったのが、最近は「〇〇くんと〇〇ちゃんとバッタ捕まえた！」などお友だちの名前も出てくるようになり、とても嬉しく思います。沢山思い出を増やしてほしいです。

ふたば・ひかり組　あやかさん

あそびへの思い

めばえ

９ 月は、感触遊びを沢山取り入れて遊びました。室内では、新聞紙をちぎって丸めたり、絵の具とどんぐりで転がし絵をして楽しみました。また、片栗粉と水を混ぜて片栗粉粘土を作り、丸めた団子が、ゆっくりと溶けていく様子を不思議そうに子どもたちは見ていました。園外では、交通公園や幼児と一緒に、バギーにのってプレーパークに散歩に出かけました。枯れ葉や砂場に夢中になって遊んでいました。今月もどんぐりや枯れ葉などを取り入れたやマラカスや山作りや、様々な場所に、散歩に出かけて秋を感じ、楽しみたいと思います。

宝田聖美　小板橋円香　峰夏音

ふたば

日中は汗ばむ日が続いていますが、朝夕は少しずつ心地よい風が感じられるようになりました。９ 月は、トウモロコシの皮むきを通して食材に触れる機会をつくり、楽しそうに活動する姿が見られました。その日の昼食やおやつに出てくるトウモロコシを嬉しそうに食べる姿が印象的でした。保育園での活動後、ご家庭でも「やってみたよ」と教えてくださる方も多く、また皮むきを通して苦手なものも自分で食べてみようとする姿が見られ、食材に触れることの大切さを感じました。簡単な野菜をちぎることなども取り入れ、季節の食材にたくさん触れることができるようにしていきたいと思います。また、過ごしやすい気候になると散歩に出かけ、自分の足で歩く楽しさを感じ、園外の自然に触れながら秋へと変化する季節を楽しんでいきたいです。

福井真裕子　尾崎美緒　西田汐里菜

つぼみ

園庭ではセミの声が遠ざかり、赤とんぼの姿をみかけるようになりました。子どもたちからも「とんぼのメガネは～」と楽しそうな歌声が聴こえてきます。虫網を使って追いかけたり、図鑑で見比べてみたりと様々な方法で楽しんでいます。一方、お部屋では絵本「ぽんぽこ村のお月さま」が大人気で、毎日「ぽんぽこむら、したい！」と保育者に伝えてきてくれます。物語の中のセリフを覚え、ナレーションするほど読み込んでおり、ぽんぽこ村の絵本が始まると、幼児クラスのお友だちも見に来てくれています。十五夜の日にも絵本を読み、お月見のおやつ（おはぎ）を食べました。これからも歌や絵本、生き物、食事などを通じて、様々な秋を体験していきたいです。

立田瑛怜菜　小寺涼香　近藤幸音

いぶき

９月も暑い日が続きましたが、やっと風が心地よい秋が近づいてきました。先日まで子どもたちは「あついね～、ふゆまだかな～」と言っていましたが、今では「すこしかぜがつめたいね」と少し季節の変わり目を感じている様子です。最近は恐竜や動物のカードゲームやトランプ等ルールのある遊びに夢中になっている子が多く、お互いに誘い合って遊びを楽しんでいます。また、ひかりさんが読んでいる『おしいれのぼうけん』に興味津々で、長いお話ですが毎日少しずつ読んでいます。「今日はここでおしまい」というと、「まだききたいよ～」「あと１ページだけ！」と可愛くおねだりしてくれるいぶきさんです。異年齢のお兄さん・お姉さんの影響を受けてこれからも様々なことに興味を持ってくれたらと思います。

小城美紗

ひかり

子ども達のひらめきや気づきには、驚かされることや新しい発見がたくさんあります。その想像力から遊びがどんどん広がってきています。『おしいれのぼうけん』をとおして、今まで一緒に過ごしてきた気の合う友だちだけでなく、遊ぶ機会の少なかった友だちと過ごす時間が増えてきました。物語を想像し、共感し合いながら遊ぶ姿が見られるようになり、友達との関わりが広がってきたように思います。物語の中からおしいれ探しや人形劇づくりと少人数での遊びも広がってきています。様々な友だちとの関わりから、言葉でお互いの気持ちを伝え合う機会になってほしいです。

日笠加菜

だいち

国旗や言葉、食べ物など世界を保育者よりも詳しくなってきた子ども達です。世界のことを知っていく中で、まずは自分たちの町を知ろう！と始まった町探検。町探検に行くと通ったことのある道も「ここはこんなお店だったんだ」「国旗があったよ」などたくさんの発見がありました。だいち組でつくる西宮の地図も大きくなり、どこまで広がるのか楽しみです。
ブラジルまで続く穴は毎日少しずつですが、みんなで協力して堀り続けどんどん深くなりました。ブラジルだけでなく、アメリカや中国など様々な国に行ってみたい気持ちが膨らんできました。
だいぼうけんの日を終え、少し成長した子ども達と次はどんな冒険に行こうか計画していきたいと思います。

松岡桃花

はまかぜ

ルールのある絵探しゲームを異年齢で一緒に遊ぶ日が続いています。カードに書いてある恐竜や動物を見つける遊びで、カードを出してゲームを進めていくことが楽しい子どもや、早く見つけてカードを集めることが楽しい子どもなどそれぞれ楽しみ方があります。なかなかお題の恐竜や動物が見つからず、カードが欲しくて涙を流す友達も見られますが、「次、探そう」と一緒にしている友達に励まされて、なんとか立ち直りながら再びやってみようとする場面も見られます。何度も遊んでいる友達の中には、クラスの隔たりがないほど接戦したゲームになっています。好きな遊びを繰り返し楽しみ、喜びや面白さを異年齢で共有する時を１０月も大切にもち続けていきます。

坂本春佳　星加由美子